

令和6年度 江戸川区立小岩第四中学校 学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	明るく、心身ともに健やかで、ひとりだちのできる心の豊かな人間の育成 ・自主 自ら学び、考え、正しく判断して、責任をもって行動する ・品位 礼儀正しい態度と丁寧な言葉から生み出される人間としての内面の美しさ ・明朗 明るい笑顔ですべての人の幸せをつくり出す ・友愛 思いやりをもってすべての人に優しく温かく接する		目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	・活気にあふれ、常に生徒の明るい声が聞こえる学校 ・安全・安心で、すべての生徒が生き生きと活動できる学校 ・生徒が学ぶ楽しさを味わい、生きる力を身に付けることができる学校 ・生徒・保護者・地域に信頼され、共に歩む学校 ・校訓や生活指導指針「お（思いやり）み（身だしなみ）そ（掃除）あ（あいさつ）じ（授業）」を自ら実践する生徒 ・基礎的な知識・技能を活用し、思考力・判断力・表現力を身に付けようとする主体的に努力する生徒 ・自己研鑽に励み、互いに高めあえる教師・豊かな人間性と思いやりのある教師 ・主体的に、熱意をもって教育に真摯に向き合う教師	
前年度までの本校の現状	成果	・年6回の校内研究授業を実施し、言語活動を効果的に取り入れた授業について研修を進めた。 ・授業の中でICT機器を効果的に活用し、生徒が主体的に学ぶ授業を行った。 ・保健体育の授業での補強運動やランニング、部活動等を通し、生徒の体力向上を推進した。 ・生徒会主催で「いじめ撲滅運動」「SNSキャンペーン」を実施し、生徒の意識を高める取組を継続している。 ・70周年の記念式典を通し、生徒の愛校心を高め、地域の方々との繋がり大切さを再認識することができた。	課題	・不登校傾向の生徒が増加している。教育相談や別室指導を充実させる等の対策を講じていく必要がある。 ・学力の向上。授業を受ける姿勢は良いので、それが学力に繋がるよう、基礎・基本の習得と定着、思考力・判断力・表現力の育成に努める。 ・授業における効果的なICT機器の活用。生徒の一人一台端末を授業の中でさらに効果的に活用できるよう、研修を進めていく必要がある。 ・教員の働き方改革。今後も引き続き進めていく。	

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価(A～D)		「中間」学校関係者評価(A～D)		「年度末」自己（学校）評価（A～D）		「年度末」学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	○授業力向上 ・効果的な言語活動 ・ICT機器の活用	◎校内研究授業の実施。全教員で授業力向上に向けて取り組む。 ◎ICT機器を効果的に活用した授業の実践。	◇校内研究授業の年6回実施。 ◇全教員が50％以上の授業の中でICT機器を活用。	C	B	B	◎校内研究授業は予定通り実施している。 ◎ICT機器の効果的な活用法を教員間で共有していく。	B	◎ICT機器は生徒の興味を惹きつける効果があるので、積極的に活用してほしい。	B	◎校内研究授業を予定通り年6回実施した。 ◎ICT機器を取り入れた授業を多く実施した。Study Weekでも多くの生徒が活用している。	A	◎授業の様子が昔とかなり変わってきている。今の生徒にあった授業を実践してほしい。	・校内研究授業等、研修を継続していく。
	○学力調査結果の分析・活用	◎全国学力調査・区学力調査・領域診断テストの実施。 ◎テスト結果を分析し、以降の授業に活かす。	◇全国学力調査で、都平均と同程度になることを目指す。	C	B	C	◎全国学力調査については、都平均・全国平均より下回った。 ◎結果を分析し、以降の授業に活かしていく。	C	◎宿題等で復習をさせることが大切。	B	◎全国学力調査・区学力調査・ESAT-J等の結果を分析し、次年度の授業に活かしていく。	B	◎都平均に近づくことを目標に、テストの結果を分析することは必要だと思う。	・家庭学習も充実させ、学んだことを定着させる取組を実践していく。
	○読書科の更なる充実	◎朝読書の充実。新聞記事・よむYOMUワークシートの活用。 ◎学校図書館や一人一台端末を活用した調べ学習。	◇新聞記事プリント・よむYOMUワークシートを週1回実施。 ◇四中祭で全生徒が成果物を展示。	B	B	B	◎よむYOMUワークシートと共に、NIEのプリントにも取り組んでいる。	A	◎新聞を読む習慣を付けさせることは良いと思う。	A	◎朝読書の取組を1年間しっかりと行うことができた。 ◎新聞記事を読む取組も定着してきている。	A	◎ビブリオバトルなど、新しい取組も継続して行ってほしい。	・よむYOMUやNIEの取組を継続していく。
体力の向上	○体操・補強運動・ランニングの実施	◎毎時間の保健体育の授業開始時に、体操・補強運動・体幹・ランニングを実施。 ◎保体の授業で、互いに応援しあう雰囲気をつくる。	◇毎時間の授業で体操・補強運動・体幹・ランニングを実施。 ◎体力調査で都平均を上回る。	B	A	A	◎保健体育の授業で毎時間取り組んでいる。	A	◎いつも校庭から元気のいい声が聞こえてきて良いと思う。	A	◎年間を通して保健体育の授業で補強運動やランニングを実施した。	A	◎昼休みも校庭で遊ぶ生徒が多いのはいいことだと思う。	・体力テストの結果分析を活かし、補強運動を工夫して継続していく。
	○部活動の活性化	◎複数の教員を顧問として配置し、部活動指導員・外部指導員を必要に応じて導入。 ◎ガイドラインに沿って、やりがいのある活動を目指す。	◇生徒の部活動加入率90％以上。 ◇1年間部活動を継続する生徒が90％以上。	A	A	A	◎全校の91.2％の生徒が部活動に参加している。	A	◎生徒たちが楽しそうに取り組んでいる。 ◎下校時間が遅くならないようにしてほしい。	A	◎熱心に部活動に参加する生徒が多く、大会等でも好成績を収めている部もある。	A	◎外部の指導者が増えるとうと良い。	・教員の過度な負担にならないよう配慮しながら、充実した部活動を実施していく。
	○食育・保健指導の充実	◎給食の残菜をなくす運動を継続的に実施。 ◎栄養士による食育指導、養護教諭等による保健指導を実施。	◇残菜調査の実施（通年）。 ◇年3回、食育・保健指導の授業を実施。	B	A	A	◎各クラスで残菜0を目指している。 ◎食育・保健指導の授業を計画通り実施している。	A	◎残菜をなくす取組は大切だと思う。	A	◎残菜0を目指すことが定着している。 ◎食育・保健指導の授業を計画通り実施した。	A	◎給食を残さない取組はぜひ継続してほしい。	・食育や保健指導を継続し、残菜0を目指す取組を続けていく。
実現に向けた教育の推進 共生社会の推進	○ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業の実施	◎校内研究授業を中心として、授業力向上に取り組む。 ◎授業の中でICT機器を効果的に活用する。	◇年6回の校内研究授業実施。 ◇年4回のICT研修実施。	B	B	B	◎校内研究授業・ICT研修を予定通り実施している。	A	◎校内での先生方の研修を今後も継続してほしい。	B	◎校内研究授業を予定通り年6回実施した。ユニバーサルデザインの視点をより多く取り入れた研修を実施していく。	A	◎どの生徒も一生懸命取り組める授業を目指してほしい。	・授業のユニバーサルデザインについて、研修を深めていく。
	○エンカレッジルーム・相談室の効果的な活用	◎SCと連携しながら、エンカレッジルームに通う生徒が安心して登校できる環境をつくる。	◇隔週でSCとの情報交換の場を設定。	B	B	B	◎定期的特別支援委員会を開催し、情報交換を行っている。	B	◎エンカレッジルームについて、もっと多くの保護者に知らせることも必要だと思う。	B	◎特別支援委員会を定期的に開催し、丁寧な情報交換を行うことができた。	B	◎エンカレッジルームでの取組を多くの保護者に知らせる方法を検討してほしい。	・特別支援委員会を継続し、より良い支援のあり方を模索していく。
	○日本語学級との連携	◎日本語学級と連携を取りながら、海外とつながる生徒が安心して登校できる環境をつくる。	◇日本語指導の充実。 ◇定期考査のルビ振り実施。	A	A	A	◎日本語学級での授業を少人数で行っている。	A	◎人数が多くなっているのが大変だと思う。	A	◎生徒数の増加が例年以上だったが、工夫しながら対応することができた。	A	◎人数が多くなって大変だと思うが、丁寧に教えてあげてほしい。	・これ以上人数が増えると効果的な授業の実施が困難になってくる。教育委員会と連携しながらより良い方法を検討していく。

不登校・いじめ対応の充実	○思いやりの心の育成	◎学校行事・学級活動等の取組の中で、友達に対する思いやりの心を育み、達成感を味わわせる。	◇事後アンケート等で肯定的な意見が90%以上。	B	A	B	○学級活動や学校行事、生徒会活動等の取組の中で常に意識させている。	B	◎小岩四中の伝統「おみそあじ」を引き継いでいってほしい。	A	○様々な学校行事や生徒会活動、学級活動等を通し、思いやりの心を育成する取組を実施した。	A	◎元氣よく挨拶してくれる生徒が多く、良いと思う。	・今後も「おみそあじ」を大切にし、生徒に様々な場面で訴えていく。
	○「いじめ撲滅運動」の実施	◎生徒会が中心となっていじめ撲滅運動を進め、生徒自身がいじめを許さない・見逃さない雰囲気をつくる。	◇いじめアンケートを年3回以上実施し、未解決ないじめを0とする。	B	B	B	○1学期の生徒総会でいじめ撲滅宣言を行った。	B	◎いじめがなくなっていほしい。	B	○年3回のいじめアンケートを実施し、いじめの早期発見・早期対応に努めた。	B	◎いじめをなくす取組を続けていってほしい。	・いじめ撲滅を目標として常に掲げ、丁寧な指導を継続していく。
	○ステップルームの活用	◎別室指導の場所・ステップルームの整備・運営。	◇不登校傾向の生徒に対し、別室への登校を促す。	B	B	B	○ステップルームのルールを整理し、運営している。	A	◎不登校傾向の生徒が学校に登校しやすい環境をつくるのはとても良いと思う。	B	○ステップルームの内部を整理することができた。	A	◎いろいろな生徒が登校しやすい環境を整えてほしい。	・ステップルームがより効果的に活用できるよう、様々な工夫を取り入れていく。
学校（園）の地域社会に開かれたの実現	○地域行事等への生徒参加	◎西小岩まつり・地区運動会等へのボランティア生徒の参加。	◇1年間で累計200名以上の生徒がボランティア活動に参加。	B	B	B	○様々な行事に合わせて生徒ボランティアを募っている。	B	◎中学生のボランティアが来てくれると、地域行事も活性化するのでとてもうれしい。	B	○ボランティア活動に多くの生徒が参加した。次年度からも地域行事やボランティアに積極的に参加する雰囲気をつくる。	A	◎これから地域行事に多くの中学生が参加してほしい。	・地域との連携を密にしながら、生徒のボランティアマインドを育成していく。
	○学校ホームページの充実	◎学校ホームページの定期的更新。	◇学校ホームページを週3回以上更新する。	C	B	C	○様々な行事を紹介する記事を掲載したり、毎日の給食メニューを紹介したりしている。	A	◎記事を読むと、学校の様子がわかるので良いと思う。	B	○HPの記事の更新をこまめに行った。○より見やすいHPづくりを目指していく。	A	◎より良いHPを目指してほしい。	・HPやtetoruを効果的に活用し、必要な情報をふさわしいタイミングで伝えていく。
	○学校関係者評価の充実	◎保護者アンケートの実施。 ◎学校評議員会の開催（年3回）。	◇年1回の保護者による学校評価実施。 ◇大きな行事の事後アンケートを実施。	B	B	B	○学校評議員会を1・2学期に1回ずつ開催し、学校に対しての意見をいただいた。	A	◎なかなか授業を見る機会がないのでわからないことも多い。行事では生徒たちが元気に取り組んでいる。	B	○学校評議員会を年3回実施し、様々な意見をいただいた。 ○年度末に保護者アンケートを実施し、その結果を学校だよりで公開した。	B	◎なかなか学校内の活動を見る機会が少ないが、学校評議員として学校のことを知ることができて良い。	・学校評議員やPTAの方々からの意見をいただきながら、より良い小岩四中をつくっていく。
教育の特色ある展開	○「おみそあじ」の励行	◎本校の合言葉「お（思いやり）・み（身なり）・そ（掃除）・あ（挨拶）・じ（授業）」を大切にする雰囲気をつくる。	◇行事や朝礼・集会等で定期的に呼びかけ、常に生徒に意識させる。	B	A	B	○様々な場面で生徒に意識させている。	A	◎小岩四中の伝統を継続してほしい。	A	○「おみそあじ」は生徒の中にしっかりと定着している。	A	◎「挨拶」や「掃除」など、小岩四中の伝統として継承していってほしい。	・生徒が自主的に挨拶や掃除をする雰囲気大切にする。
	○「続ける力」の育成	◎日々の努力をコツコツと続けることの大切さを生徒に伝える。	◇全校朝礼や道徳の授業等を活用する。	B	B	B	○様々な場面で生徒に意識させている。	A	◎「継続は力なり」ということを伝えていくのは大事だと思う。	B	○「続ける力」という言葉を様々な場面で強調し、続けることの大切さを生徒に伝えた。	A	◎あきらめず、粘り強く続ける人に育ってほしい。	・続けることの大切さについて、様々な場面で生徒に繰り返し伝えていく。
	○働き方改革の推進	◎行事や庶務の精選。 ◎ペーパーレス化の推進。	◇tetoru等を活用してペーパーレス化を進め、家庭配布プリントを50%減らす。	B	B	B	○tetoruを活用し、家庭配布資料のペーパーレス化を進めている。	A	◎学校の働き方改革を積極的に進めていってほしい。	B	○ペーパーレス化はかなり進んできた。保護者向けのアンケート等でも協力を得ることができた。	A	◎先生方の働き方改革は必要だと思う。	・教職員の勤務時間を減らす取組を継続していく。